
火は芽を潰したくて、愛ゆえに

把 多摩子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

火は芽を潰したくて、愛ゆえに

【Nコード】

N3192U

【作者名】

把 多摩子

【あらすじ】

”真のヤキモチやきの男にとって、女は生きているというだけで死に値する”

こんなような事を外国の誰かが言っていた。

もし、主人公達がそれを知っていたら話は変わっていただろう。

本編DESTINYのある意味ネタバレになるかもしれませんが。

他サイトからの転載です

君を殺してしまえば。

胸を焼き焦がす嫉妬に苦しまないで済む

ホントに苦しいんだ、心臓を鷲掴みにされてるみたいなんだ
頭の中で誰かが大声で怒鳴ってる

イライラして手足を何かに叩きつけずには居られない
ムカムカして君を罵らずには居られない

君を殺してしまえば。

これ以上君の身体を心を傷つけずに済むって気づいたよ
そうだね、一瞬だ

君の首を絞めればいい

心臓に剣を突き刺してもいい

痛くないように、苦しまないように、オレは優しいから
一瞬で君を殺してあげよう

そうだね、それが一番妥当な方法だ

ただただ君への愛ゆえに

君を束縛して

君を独占して

君を脅迫して

君を調教して

君にオレを叩き込んだ

君はちゃんと解ってくれた？

殺すときは笑顔で居てね

死んだ後、冷凍保管したいんだ

だから笑顔で死んで欲しい

オレの大好きな笑顔のまま、死んで欲しい
そうしたらオレは毎日四六時中君の傍で

君の笑顔を柔らかに見守り続けるよ

オレが手に入れた安息の地

君が死んだら君の声が聞けない

君が死んだら君の笑う顔が見えない

君が死んだら君の涙が見えない

君が死んだら君の苦悶の表情が見えない

どれもこれも、オレの心を掴んで放さない君の全てが

・・・今後見えなくなる

それでも、けれども

オレは君を殺すだろう

だってそうしないと君が完全に手に入らない

言っただけだ、オレは君が欲しい

全部欲しい、何処へも行くな

隣に居るのはオレだけでいい

君はオレの隣にいないといけない

例え傷ついていても、死に掛けていても、死んでいても
オレの隣に居ればいい

「ねえ、アサギ。どうやって殺されたい？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3192u/>

火は芽を潰したくて、愛ゆえに

2011年10月9日06時10分発行